

令和7年8月8日

独立行政法人水資源機構

関西・吉野川支社 淀川本部

木津川ダム総合管理所

渇水対策本部の設置について (淀川本部及び木津川ダム総合管理所)

近畿地方では平年より22日早い6月27日頃に梅雨明けしたとみられ、木津川ダム総合管理所管内各ダム地点の7月の降水量は、直近10年間の平均に対して2割から4割程度となっています。

木津川ダム総合管理所管内の各ダムでは、河川の必要水量を確保するため、ダムに貯留している水を継続的に放流していますが、高山ダムの貯水率が8月7日で50%程度となっており、今後、まとまった降雨がなければ、さらに低下することが見込まれます。

この状況を踏まえ、渇水対策を適切かつ円滑に行うことを目的として、8月7日に独立行政法人水資源機構関西・吉野川支社淀川本部及び木津川ダム総合管理所に渇水対策本部を、高山ダム管理所に同支部を各々設置しましたのでお知らせします。

今後、関係利水者等と水源情報の共有を強化し、適切な渇水対応を行ってまいります。限られた水資源を有効に活用するため、節水にご理解とご協力をお願いします。

発表記者クラブ：近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、大阪市政記者クラブ、三重県政記者クラブ、名張市政記者クラブ、奈良県政記者クラブ、奈良市政記者クラブ、学研都市記者クラブ、橿原記者クラブ、桜井市政記者クラブ

お問い合わせ先：(渇水対策本部設置に関すること)

関西・吉野川支社 淀川本部 施設管理課長 尾島(おじま)○
総務課長 横江(よこえ)

電話：06-6763-5182(代表)

(高山ダムに関すること)

木津川ダム総合管理所 管理課長 常松(つねまつ)○
副所長 小林(こばやし)

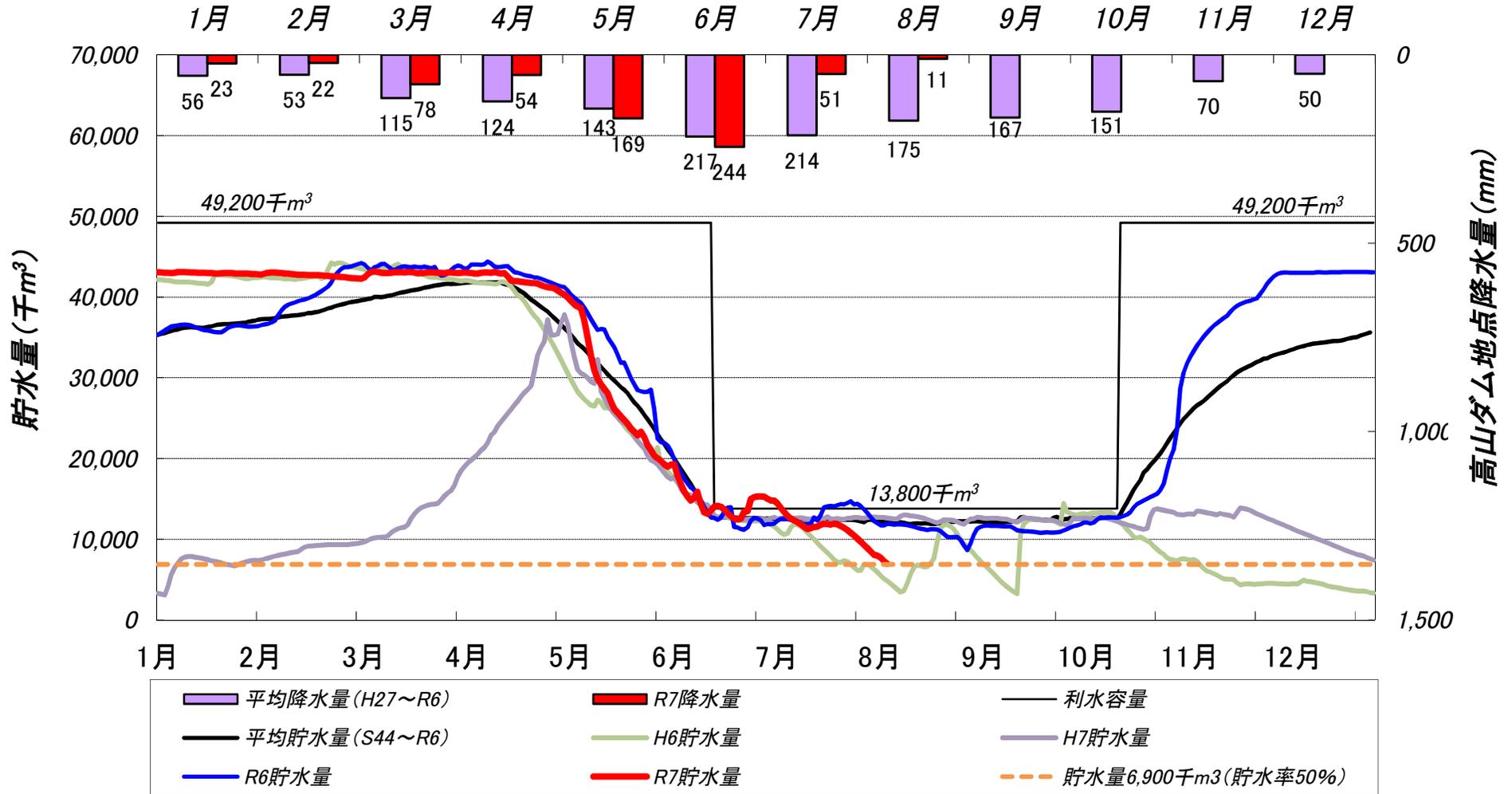
電話：0595-64-8961(代表)

(参考資料)

令和7年 高山ダム貯水量曲線

1月-7月平均降水量(ダム地点) 922 mm
1月-7月R7降水量(ダム地点) 652 mm

令和7年8月7日現在



(参 考 資 料)

木津川ダム総合管理所管内各ダムの貯水量及び貯水率

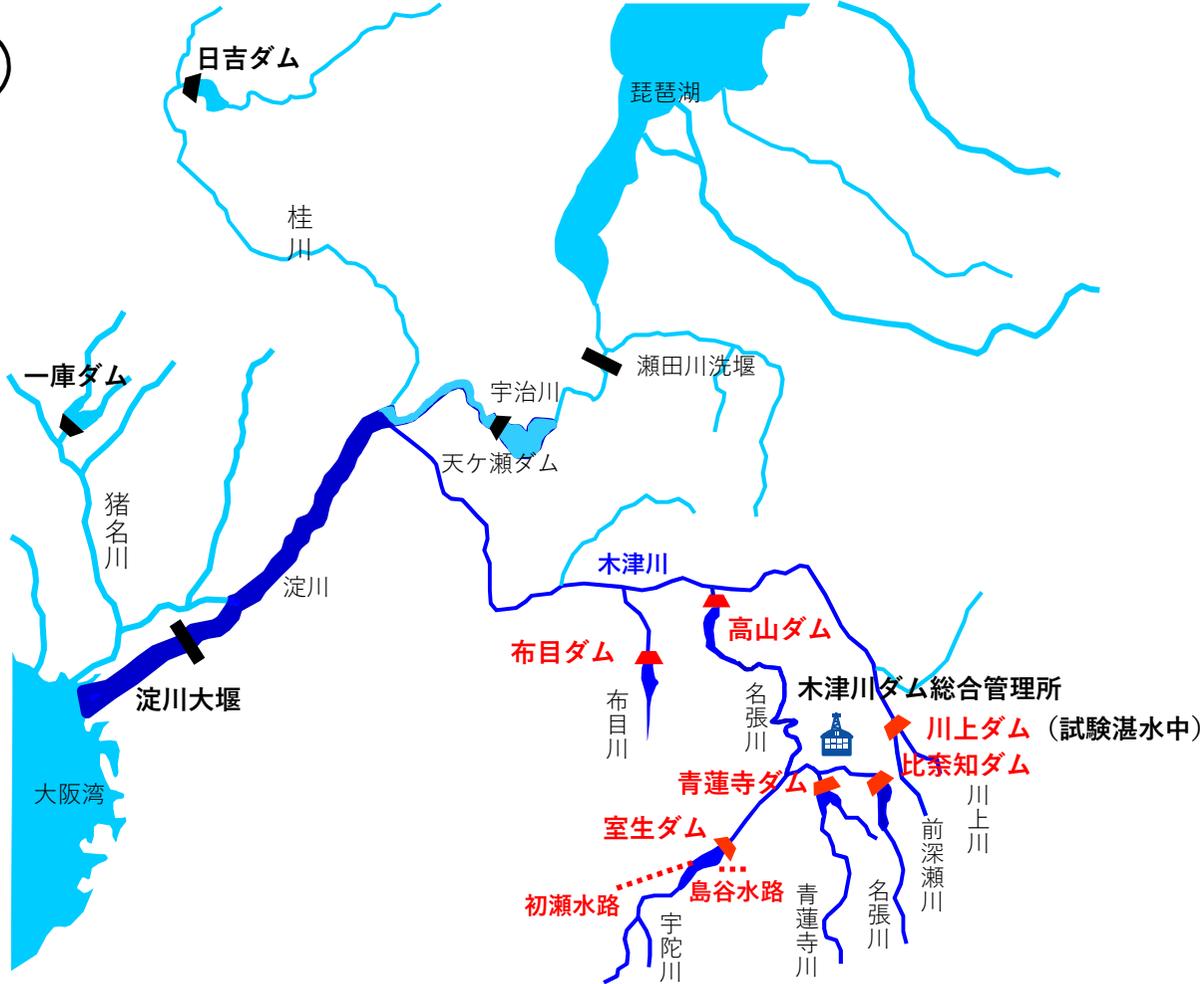
令和7年8月7日 現在

ダム名	利水容量(千m ³)	貯水量(千m ³)	貯水率	平年の貯水率
高山ダム	13,800	6,983	50.6%	87.7%
青蓮寺ダム	15,400	12,798	83.1%	95.3%
室生ダム	8,150	5,974	73.3%	84.0%
布目ダム	10,000	8,717	87.2%	90.1%
比奈知ダム	9,400	7,947	84.5%	94.2%
川上ダム	14,800	13,024	88.0%	97.6%

※貯水量・貯水率は当該日の日平均値。

※平年の貯水率は、各ダムの管理開始から令和6年までの平均値。

木津川ダム総合管理所の概要



【布目ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
 目的：F N W
 堤体積：約331千m³
 堤高：72.0m
 堤頂長：322.0m
 流域面積：75km²
 湛水面積：0.95km²
 管理開始：平成4年4月
 所在地：奈良県奈良市

【室生ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
 目的：F N W
 堤体積：約153千m³
 堤高：63.5m
 堤頂長：175.0m
 流域面積：169km²
 (直接136km²、間接33km²)
 湛水面積：1.05km²
 管理開始：昭和49年4月
 所在地：奈良県宇陀市

【青蓮寺ダム諸元】

型式：アーチ式コンクリートダム
 目的：F N A W P
 堤体積：約175千m³
 堤高：82.0m
 堤頂長：275.0m
 流域面積：100.0km²
 湛水面積：1.04km²
 管理開始：昭和45年7月
 所在地：三重県名張市

【高山ダム諸元】

型式：アーチ重力式コンクリートダム
 目的：F N W P
 堤体積：約214千m³
 堤高：67.0m
 堤頂長：208.7m
 流域面積：615.0km²
 湛水面積：2.6km²
 管理開始：昭和44年8月
 所在地：京都府相楽郡南山城村

【川上ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
 目的：F N W
 堤体積：約456.0千m³
 堤高：70.5m
 堤頂長：334.0m
 流域面積：54.7km²
 湛水面積：1.04km²
 管理開始：令和5年4月
 所在地：三重県伊賀市

【比奈知ダム諸元】

型式：重力式コンクリートダム
 目的：F N W P
 堤体積：約430.0千m³
 堤高：70.5m
 堤頂長：355.0m
 流域面積：75.5km²
 湛水面積：0.82km²
 管理開始：平成11年4月
 所在地：三重県名張市

記号	目的
F	洪水調節
N	流水の正常な機能の維持
A	かんがい用水
W	水道用水
P	発電

高山ダム の概要

■ ダムの諸元

ダム型式 : アーチ重力式コンクリートダム
 堤体積 : 約213.9千m³
 堤高 : 67.0m
 堤頂長 : 208.7m
 湛水面積 : 2.6km²
 流域面積 : 615.0km²
 管理開始 : 昭和44年8月

■ ダムの目的

1. 洪水調節

下流河川での洪水被害を軽減することを目的に、ダム地点における計画高水流量3,400m³/sのうち1,600m³/sをダムに貯留し、1,800m³/sをダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持

下流河川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 水道用水

水道用水として阪神地区に最大5.0m³/sを供給する。

4. 発電

関西電力が設置した高山発電所で、最大出力6,000kWの発電を行う。(最大使用水量14m³/s)



■ 貯水池容量配分図

